

# 専門技術コース ガイダンス

## アジェンダ

1. 学習のゴール
2. 学習の流れ
3. 課題提出
4. 学習進捗管理シート
5. スキル評価
6. 修了証明書
7. 学習レポート
8. デイリースクラム

# はじめに

このスライドでは4ヶ月目の学習にあたっての連絡事項、注意事項について記載しております。

必ず最後までお読みください。

学習についての不明点については  
DWC運営部までご連絡ください。

# 1.学習のゴール

フェーズⅣで学習する内容は

「**教養として大枠を知る**」

ということが主なゴールとなります。

## 学習のゴール\_2

フェーズⅠ～フェーズⅢまでは  
「○○できる」「○○できるようになる」ことがゴールでした。

### 【例】

フェーズⅠ：課題を通して、基本的なRailsアプリが**作れるようになる**

フェーズⅡ：課題を通して応用的なRailsアプリが**作れるようになる**  
複数人でアプリを**開発できるようになる**

フェーズⅢ：学んだ内容をもとに、**ポートフォリオを作れる**

フェーズⅣ：AI・クラウドについて、**教養として大枠を知る**

# なぜ、教養として大枠を知ることが重要？\_1

## ・開発に関わる役割・業務を知ることができる

教養として大枠を知っておくだけでも  
ソフトウェア開発に関わるさまざまな**役割・業務を知ることができる**

役割・業務を知っておくことで  
**開発においてどのような役割・タスクが必要かを  
的確に洗い出すことができる人材になります。**

## なぜ、教養として大枠を知ることが重要？\_2

### クラウド教養コースの場合

**Webアプリをサービスとして運営するときに必要なクラウドサービスの役割を知ることができる**

コード書いてデプロイすることが、開発の終わりではない。  
サービスリリース後、意図しない障害を検知し、対応する必要がある。

- ・開発したアプリケーションをクラウドを利用し、稼働させ  
保守、運用を行うために必要なポイントを知ることが出来る
- ・運用や保守を支える技術としてクラウドサービスがあり  
このコースではAWSを使って学ぶ



# なぜ、教養として大枠を知ることが重要？\_3

## AI教養コースの場合

### データサイエンティスト・AIエンジニアが担う役割を学べる

例えば、Amazonのおすすめ機能をWebアプリに機能実装したければある程度AIの機能を知っておく必要がある。

- ・上の例のように、Webアプリの機能作成においてAIが「どのような仕組みで動いているか」「仕組みを作るために何が必要か」の知識を知っておく必要があるケースも存在する
- ・これらの機能自体はデータサイエンティスト、AIエンジニアが作ることが多いが役割を理解すれば、誰に何をお願いすれば実現できるのか、考える指針になる

## AWSのサービスを使用して Webアプリケーションを運用するために出来ることを学ぶ

### ◆ 実践すること

- ・ポートフォリオで使用しているAWSのサービスを、標準の設定ではなく設定を理解した上で、自分でネットワーク構成をつくり、稼働させるようにする
- ・ポートフォリオが動作するEC2がダウン(障害時)した時、通知を受け取れるようにする

### ◆ 学習すること(大枠を知る)

- ・AWSのネットワーク設定を理解し、必要に応じたネットワーク環境を構築する方法
- ・AWSのサービス利用権限を管理し、役割ごとにできることを制限する方法
- ・AWSのサービスに対するアクセス・設定変更のログを確認する方法
- ・災害時や障害発生時などに、サーバーをダウンさせずに運用する構造や方法

### AIの仕組みを使って出来ることや それを支える技術や考え方を学ぶ

#### ◆ 実践すること

- ・AIの仕組みを使用して動いているAPIの使用方法を知る
- ・AIの仕組みを使用しているAPIを、ポートフォリオに組み込む

#### ◆ 学習すること(大枠を知る)

- ・Pythonを使用した、データ分析用のライブラリの使い方について
- ・AIで使用される概念や考え方(機械学習・ニューラルネットワーク・自然言語処理)
- ・AIの仕組みを使ってデータ分析を行う方法

## 2.学習の流れ

# 学習の流れ

## | カリキュラムについて

AI、クラウドコース共に1ヶ月目と同様、カリキュラムを見ながら学習を進めてください。課題は、カリキュラム内にございます、所定の送信フォームから提出をお願いします。(後述)

WEBCAMP ONLINEの左上にございます、カリキュラム選択からいずれかの講座が付与されていることをご確認ください。



専門技術講座（クラウド教養） ▼

専門技術講座（AI教養コース） ▼

# 学習の流れ\_2

## | 学習環境

オンラインでの学習となります。ビデオチャットを通してメンターとやりとりするため、ネットワークの接続が良く、音声が聞き取りやすい場所で学習ください。

## | メンター対応

3ヶ月目同様、平日19:00-22:00(金曜日を除く)、土日13:00-22:00で対応いたします。  
※受付は21:30まで

## | 学習カレンダー

1ヶ月目に配布した学習カレンダーに提出物の期限など記載がございます。

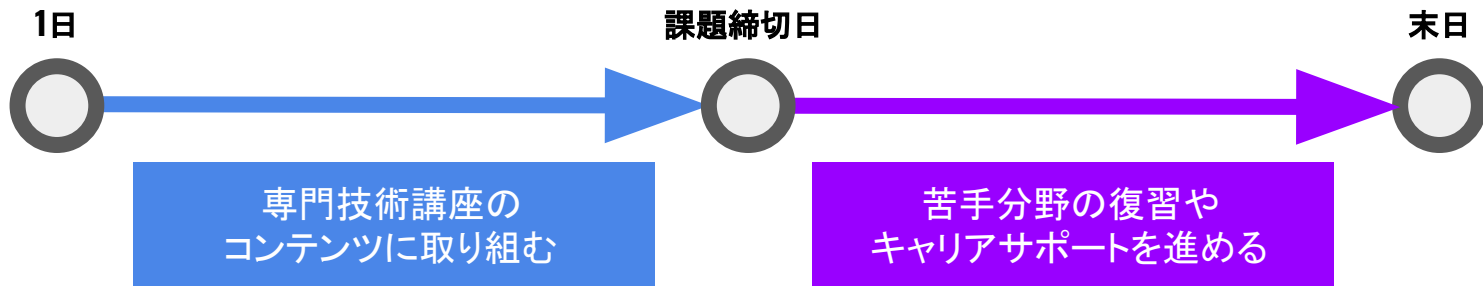
学習前にご確認ください。

# 学習の流れ\_3

## 4ヶ月目の過ごし方

専門技術講座の想定学習時間は、60時間となっております。  
課題締切日までは、課題提出に向けた学習をお願いいたします。

課題締切日以降は、自由学習期間となります。  
メンターへの質問は末日まで可能ですので  
苦手分野の復習や、キャリアサポートにご活用ください。



# 3.課題提出



# 課題提出(AI)

課題は所定のGoogleフォームから送信します。  
(各コース、カリキュラム内に課題提出についてのリンクがございます)

制作したポートフォリオにAIの機能を追加して下さい。

機能を実装できたら、以下の流れで合否判定の確認依頼と、課題提出フォームの入力をお願いします。

1. メンターへ、ポートフォリオ上でAIの機能が問題なく動作しているか、確認を依頼してください。  
この時、通常の質問と同様に、入力フォームから連絡ください。その際、タイトルに「AI教養コース ポートフォリオ確認依頼」と記載します。
  2. 対応時に、API実装内容の画面共有と、実装内容の説明をお願いします。最後にメンターから問題なく実装できている旨の承認を得てください。
  3. 確認が終わりましたら、課題提出報告フォームから提出をお願いします。その際、承認したメンターの名前の記載をお願いします。  
追加開発終了後は[こちらの提出フォーム](#)より提出して下さい。
- ※「提出する課題を選んで下さい」の項目では「ポートフォリオへの機能追加 (AI機能)」を選択して下さい

提出準備・方法についてはカリキュラム内のスライドに沿って確認してください。  
**ポートフォリオへの機能追加が完了しましたら、メンターへの確認をお願いします。**

※提出後のレビュー返却や合格通知はございません。

# 課題提出(AI)\_2

## 課題内容

1. ポートフォリオへのAI機能追加(画像認識、自然言語処理いずれかの実装)
2. 課題について (sample)
3. pythonに慣れる (pandas)
4. pythonに慣れる (numpy)
5. pythonに慣れる (matplotlib)
6. 機械学習実装
7. ニューラルネット実装
8. 自然言語処理実装

## 課題提出日

ポートフォリオへのAI機能追加は **7日目**を提出日としています。

また、各課題の提出最終締切日は **15日目** までです。(営業日)

※別途、修了証発行条件について4ヶ月目開始日より26日目でご案内しておりますが、修了証発行工程で、厳密なチェックの必要があるため、15日目までの提出をお願いしております。15日目の締切日に間に合わない方はDWC運営部までご連絡下さい。

# 課題提出(クラウド)

課題は所定のGoogleフォームから送信します。  
(各コース、カリキュラム内に課題提出についてのリンクがございます)

## 課題提出

課題提出は[こちらの提出フォーム](#)より提出して下さい。

提出準備・方法についてはカリキュラム内のスライドに沿って確認してください。

**ポートフォリオへの機能追加が完了しましたら、メンターへの確認をお願いします。**

※提出後のレビュー返却や合格通知はございません。

# 課題提出(クラウド)\_2

## 課題内容

1. 3章【EC2の運用1】課題問題
2. 8章【課題:ポートフォリオへ機能追加】

## 課題提出日

各課題の提出最終締切日は **15日目** までです。(営業日)

■ポートフォリオの機能追加については提出前にメンターへ要件の確認が必要です。

1. WCOの質問投稿で、メンターへ必須要件の確認を依頼してください。

その際、タイトルに「**クラウド教養コース ポートフォリオ確認依頼**」と記載します。

2. 対応時に必須要件で設定している内容の説明をお願いします(画面共有で設計図やAWSコンソールからの説明)。最後にメンターから要件通りである旨の承認を得てください。

※別途、修了証発行条件について4ヶ月目開始日より26日目でご案内しておりますが、修了証発行工程で、厳密なチェックの必要があるため、15日目までの提出をお願いしております。15日目の締切日に間に合わない方はDWC運営部までご連絡下さい。

# 4.学習進捗管理シート

- AI教養コース(<https://ux.nu/IZxl3>)
- クラウド教養コース(<https://ux.nu/oCepI>)

※必ず[雛形]をコピーして使用してください。

## 5.スキル評価

専門技術生は、3ヶ月目にご提出いただいたPFのURLを元に、  
レビューとフィードバックをいたします。

4ヶ月目の学習期間中にPFのURLに変更(ドメイン取得等)があった場合、必ず運営部までご連絡ください。

※AIコースの方は3ヶ月目に作成したPFにAI機能を追加してください。



### スキル評価の際に必要なもの

- ・最終提出期限である15日目までに、ポートフォリオ機能追加の課題が提出されていること(AI教養コースの方は7日目を目指して提出してください)
- ・3ヶ月目提出物「ポートフォリオ自己評価・振り返り」が提出されていること（未提出の方は必ず送信してください）
- ・ポートフォリオをデプロイしているAWSのインスタンスが稼動状態であること(ポートフォリオにアクセスができないと評価作業が行えません)

**これらは提出・確認漏れのないようにお願いいたします！**

## 6.修了証明書

# 修了証明書

以下の条件を満たした方へ修了証明書を郵送します。

条件を満了後、翌月の1日～約1週間を目処に登録の住所へ修了証明書・受講料金の領収書を送付致します。

- 学習課題の提出、ポートフォリオへの機能追加
- 4ヶ月目の学習期間の修了

※修了証を受領したら、ご自身にてハローワークへ手続きをお願いします。

# 7.学習レポート

# 学習レポート

自身の学習進捗を確認したり、振り返りをする機会として「**学習レポート**」をご用意しました。

学習進捗を日次と週次形式で記載していただく

「**デイリーレポート**」・「**ウィークリーレポート**」を元に、

自身の学習を振り返り、改善していきましょう！

学習・制作ペースの維持や、自身の学んだ内容/進捗を客観視し、  
スケジュールの軌道修正を行う復習に役立てるといった取り組みに活用することができます。

※必須で取り組みをお願いいたします。

## 実施日

- ・デイリーレポート 毎日学習終了時点（※休校日は除く・15日目まで）
- ・ウィークリーレポート 6日目・12日目

# 学習レポート

各レポートで使用するものは以下の3つです。

## □ デイリーレポート

- ・デイリーレポート提出フォーム( <https://ux.nu/EHkdU> )

## □ ウィークリーレポート

- ・ウィークリーレポート提出フォーム( <https://ux.nu/N4ZFr> )
- ・[雛形]ウィークリーレポート( <https://ux.nu/qBVnv> )

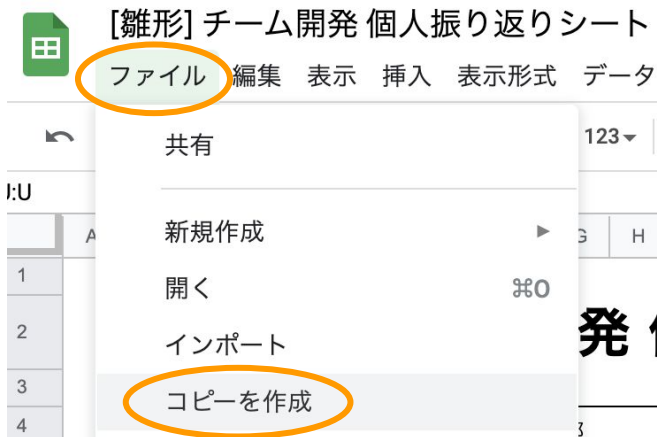
※必ず「[雛形]ウィークリーレポート」をコピーして使用してください。コピーの方法については後述いたします。

# 学習レポート - ファイルのコピー方法について -

## ▶ ファイルコピー手順

- 左上の**ファイル→コピーを作成**でファイルを複製して使用してください。
- **保存場所:マイドライブ**

1



2

ドキュメントをコピー ×

名前

[雛形] チーム開発 個人振り返りシート のコピー

フォルダ

■ マイドライブ

☐ 同じユーザーと共有する

☐ コメントをコピーする

☐ 解決済みのコメントを含める

キャンセル

OK

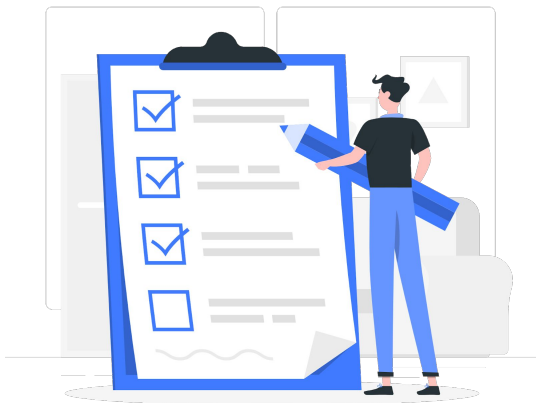
# デイリーレポート



# デイリーレポート

デイリーレポートは、  
フォームにて日々の学習を振り返っていただきます。  
デイリーで学習内容/進捗を記録することで、  
現状の学習状況、取り組んだ内容でどこに時間がかかったかなどを確認  
することができ、改善点がわかりやすくなります。

また、日々の進捗を記録することで備忘録にもなり、すでに学習した内容や、理解が薄い箇所などが整理され効率的に学習を進めることができます。



**実施日** 毎日学習終了時点（※休校日は除く・15日目まで）

# デイリーレポート

## 学習フェーズ \*

- ☐ 基礎学習フェーズ（1ヶ月目）
- ☐ 応用課題フェーズ（2ヶ月目）
- ☐ ポートフォリオ制作フェーズ（3ヶ月目）
- ☐ 専門技術学習フェーズ（4ヶ月目）

## 本日、学んだことを教えてください。 \*

例、いいね機能・フォロー/フォロワー機能について

記述式テキスト（長文回答）

## 前日に設定した本日の学習到達目標は達成できましたか？ \*

- ☐ はい
- ☐ いいえ

## 「いいえ」と回答した方は、達成できなかった理由を教えてください。

例、学習内容に対して、学習時間の見極めりが想定と異なっていた

記述式テキスト（長文回答）

## 明日の学習到達目標を教えてください。 \*

カリキュラムの章、課題名、学習内容などを記載してください。

記述式テキスト（短文回答）

## 学習フェーズ

学習フェーズを選択してください

本日、学んだことを教えてください

学習内容やメンターへの質問で学んだことを記入してください

前日に設定した本日の学習到達目標は達成できましたか？

当てはまる項目にチェックをしてください

「いいえ」と回答した方は、到達できなかった理由を教えてください

到達できなかった理由をできるだけ具体的に記入してください

明日の学習到達目標を教えてください

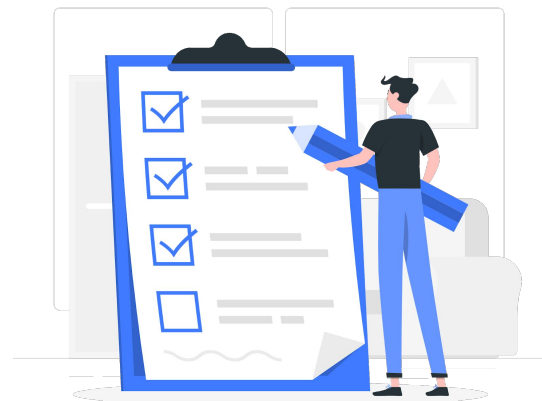
カリキュラムの章や、実装予定の機能などを記入してください

# ウィークリーレポート

# ウィークリーレポート - シートについて -

ウィークリーレポートは  
KPT+ $\alpha$ を用いた振り返りワークを行っていただきます。  
1週間で取り組んだ内容を振り返り、  
「よかったこと」は継続、質を高めていき  
「上手くいかなかったこと」は、やり方をかえ改善、  
その中で新たに気付いた事などに  
取り組んでいくことで学習の質を高めていくことを目的としています。

ウィークリーレポートを記入する際は、  
後述する内容と記入例を参考にしてください。  
できる限り具体的に記入することを心がけましょう。



**実施日**

ウィークリーレポート 6日目・12日目

# ウィークリーレポート - シートについて -

## Weekly Report

記入日	学習時間(今週)	学習目標時間(次週)
○/12		

今週学んだこと・振り返り

学んだこと

よかったこと(Keep)

問題点・改善点(Problem)

具体的な行動(Try/Action)

来週の予定・目標

13日	14日	15日			
##開始・終了時間	##開始・終了時間	##開始・終了時間			
##学習内容	##学習内容	##学習内容			
##到達目標	##到達目標	##到達目標			

例 6日目 12日目

### 注意事項

- ・対象のタブを使用してください。

# ウィークリーレポート - シートについて -

記入日	学習時間(今週)	学習目標時間(次週)
今週学んだこと・振り返り		
<b>学んだこと</b> Google Cloud Platform Natural Language API		
<b>よかったこと(Keep)</b> Google Cloud Platform Natural Language APIの登録がスムーズに行えた		
<b>問題点・改善点(Problem)</b> ・質問の前に自分自身で調べずに質問していることが多かった		
<b>具体的な行動(Try.Action)</b> ・質問する前に必ず自分で調べ、少なくとも「分からないこと」を明確にした上で質問を行う。		

## 学んだこと

学習内容や取り組んだ機能や、  
メンターへの質問で学んだことを記入してください

## よかったこと(Keep)

上手くいったこと、今後も継続したいと思っていること  
なぜ上手くいったか、一番こだわったことなどを記入してください

## 問題点・改善点(Problem)

学習に取り組む上で問題があると感じたこと、目標に達しなかったこと、  
問題の原因などを記入してください

## 具体的な行動(Try.Action)

良かったこと(Keep)のうち来週も取り組みたいことや  
問題点(Problem)を解決するための具体的なアクションを記載してください。

# ウィークリーレポート - シートについて -

来週の予定・目標

7日	8日	9日	10日	11日	12日
##開始・終了時間	##開始・終了時間	##開始・終了時間	##開始・終了時間	##開始・終了時間	##開始・終了時間
11:00~19:00	8:00~17:00	休日	9:00~20:00	13:00~22:00	11:00~19:00
##学習内容	##学習内容	##学習内容	##学習内容	##学習内容	##学習内容
Refileの設定 python	機械学習		ニューラルネットワ	ニューラルネットワ	自然言語処理実装の
##到達目標	##到達目標	##到達目標	##到達目標	##到達目標	##到達目標
pythonに慣れる (m	機械学習		ニューラルネットワ	自然言語処理実装の	自然言語処理実装の

## 開始・終了時間

来週の学習開始予定時刻・終了予定時刻を記入してください

## 学習内容

来週の学習予定内容を記入してください

## 到達目標

来週の目標学習進捗や到達目標を記入してください

# ウィークリーレポート - 提出方法について -

## ウィークリーレポート

1週間の学習を振り返り、翌日の目標を設定しましょう。

\*必須

メールアドレス \*

メールアドレス

氏名 \*

回答を入力

受講生ID \*

回答を入力

学習フェーズ \*

- ☐ 基礎学習フェーズ (1ヶ月目)
- ☐ 応用課題フェーズ (2ヶ月目)
- ☐ ポートフォリオ製作フェーズ (3ヶ月目)
- ☐ 専門技術学習フェーズ (4ヶ月目)

ウィークリーレポートのリンクを提出してください。 \*

回答を入力

メールアドレス

メールアドレスを入力しましょう

氏名

お名前を記入してください

受講生ID

受講生IDを記入してください

学習フェーズ

学習フェーズを選択してください

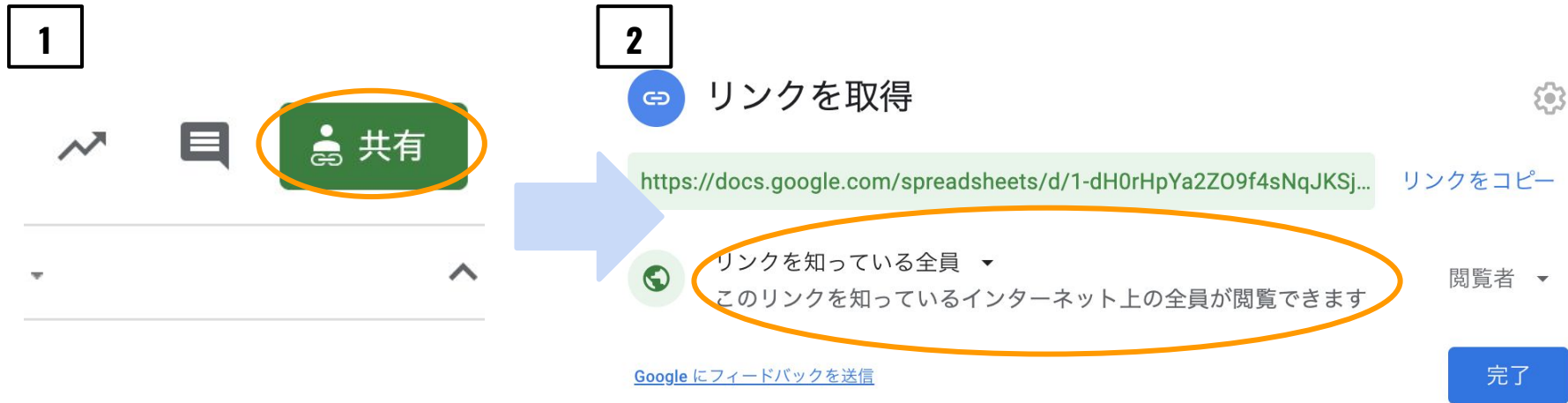
「ウィークリーレポート」のリンクを提出してください

提出の際、権限を「閲覧可能」にしてください



# ウィークリーレポート - 提出方法について -

- 右上の「共有」から**閲覧権限を付与**してください。



## 8. デイリースクラム

# デイリースクラム

お互いの学習進捗を共有したり、教え合いをする機会としてみなさんへ

**「デイリースクラム」**という取り組みをご用意しました。

日々の進捗を日報形式で記載できる**「デイリーレポート」**を利用して、

お互いの進捗状況を共有し合ってみましょう！

これを行うことで制作ペースの維持や、自身の進捗を客観視し、

制作の軌道修正をするといった取り組みに活用することができます。

**毎日11:00 15分程度**(休校日を除く・15日目まで)

# デイリースクラム -進行について-

## 進行フロー

① 11:00 ~ 集合したメンバーと挨拶しましょう



③ 11:05 ~ 発表順を決めて、共有し合います



④ 11:15 ~ 発表が終了したら学習を始めましょう

**毎日11:00までに**

Remoのテーブルにお集まりいただき、左記の手順で進めていきましょう。

# デイリースクラム -アジェンダー-

- テーブルのメンバーと**デイリースクラム**をしましょう！

デイリーレポートに記載した内容を元に、以下について共有します。

- 昨日の学習到達目標は達成できましたか？（はい or いいえ）
- いいえ ➡ 何が原因で達成できなかったのか
- 現在の学習進捗はどこまでか（例：カリキュラム「Railsを学ぼう」の〇章）
- 本日の学習到達目標はどこまでか（例：カリキュラムの〇章まで、課題の完成）
- （その他、あれば）学習で気をつけていること、意識していること、気づいたこと等